情報・通信業

株式会社NTTデータ ウェーブ 様

他社製品とは異なり、ITAMのライセンス体系は、 必要な機能だけを購入できるためコストパフォーマ ンスのよさを高く評価。

また、自社開発のツールからITAMへ入れ替えた事 により、鮮度・精度の高い情報を確認し、効果的な IT資産管理環境を構築。コスト削減にも貢献。

Wave PC Mate (ロ)と構成資産管理が連携し NTTData

株式会社 NTTデータウェーブ

2002年8月、NTTデータと日本 たばこ産業(JT)の共同出資によ る先進的な企業情報システム の構築を行うシステムインテグ レータとして設立。

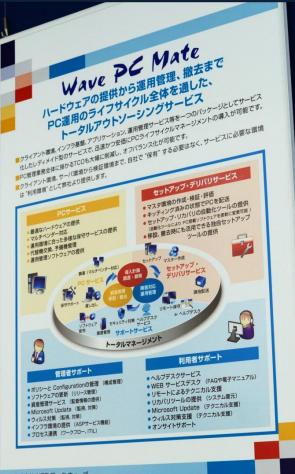
「ITエージェント」のコンセプトの もと、お客様企業の情報システ ムに関してコンサルティングから 企画提案、構築、運用に至る までの最適サービスをトータル に提供しています。

ハードウェアの調達から運用管理まで含めたPCのくトータルアウトソーシング サービス>である『Wave PC Mate』をサービスラインナップし、お客様企業のI<mark>Tイ</mark>ンフ ラ構築も手掛けています。



の管理を自動化

会社紹介



株式会社 NTT データ ウェーブ

構成 情報 [導入製品] ITAM v5.1

[導入ライセンス] 資産管理/インベントリ/配布/セキュリティ

約900ライセンス [管理対象] [導入期間] 2011年1月~7月 [運用開始時期] 2011年7月

- ♥ 年2回行う棚卸を自作のExcel台帳を基に実施。1回の棚卸作業に1ヶ月の期間を要していた。
- 自社開発したインベントリ収集ツールでは技術面で属人的になりやすく、新OS対応などに開発コ ストがかかりすぎるという問題点があった。

- WebベースでのIT資産管理を実現、Excel台帳のメンテナンスから解放 され、棚卸工数が約75%も削減!
- ◆ITAMのインベントリ機能で鮮度・精度の高い情報が確認可能に。 セキュリティと配布機能の使用により、安全性も確保し、IT資産管理を 実現。

NTTデータ ウェーブが提供するPC運用管理アウトソーシングサービス「Wave PC Mate」の構成ツールとして 必要な機能だけを購入可能なITAMのライセンス体系も評価のポイントに。 ITAMを採用。

ITAM導入のきっかけ

NTTデータ ウェーブでは、ITAMの導入以前はExcelで作成した資産台帳と、自社開発したツールでIT資産管理を行っていたという。しかし、収集 できる情報が完全ではなく、新OSの対応に開発工数がかかること、技術面などで属人的になりやすいといった問題があった。また、Excel台帳の管理 も煩雑であったため、IT資産管理製品の導入を検討するに至ったという。

- ITAM選定の決め手

「ITAMを含め5つのIT資産管理を評価した」というNTTデータ ウェーブ。ITAM導入の決め手の一つがNTTデータ ウェーブが提供するPC運用管理 アウトソーシングサービス「Wave PC Mate」の存在だった。サービスを構成するツールとしてITAMを採用しており、他社へのサービス提供で社内 に運用スキルが蓄積されており、必要な機能だけを購入できるライセンス体系が選定の決め手となった。 「他社のIT資産管理製品は多くがスイート 製品になっており、使わない部分にもコストが発生してしまうケースが多い。必要なライセンスだけ購入できるITAMはシンプルで動作も早く、 トパフォーマンスに優れていると判断して採用しました。これは『Wave PC Mate』のお客様にも当てはまることでした。」とシステム基盤事業部の 福田氏はいう。

本社1階のレセプションエリア



レセプションエリアには、セミナールー ムも設置されている

※会社名、製品名は各社の商標または登録 商標です。

※本導入事例に記載された情報は掲載時のものであり、閲覧される時点では変更されている可能性がありますので、ご了承願います。

「導入や通常のオペレーションそのものは、v4よりもv5の方が楽になっていたので苦労はしませんでした。」 -システム基盤事業部 今津 E

── ITAM導入時の苦労と解決策

『Wave PC Mate』でITAM v4時代から使用していたNTTデータ ウェーブだが、「ITAM v5では管理者側のコンソールがWeb化され大きく仕様が変わったため、理解するまで苦労しました。」と福田氏は語る。 しかし、「ITAM導入のための社員向けの教育としては、簡単なオペレーションの説明会を実施するだけで済みました。導入や通常のオペレーションそのものは、v4よりもv5の方が直感的になっていたので苦労はしませんでした。」と今津氏はいう。

ーITAM導入の効果

ITAM導入前は、IT資産情報を部署ごとに提出させ管理部門で一元管理をしていたが、ITAM導入後はITAMで資産情報を確認し、部門ごとに報告を行うという運用に改善。結果、管理工数の削減とリードタイムの短縮化に成功し、大幅に管理負荷を軽減できるようになったという。

「インベントリがより確実に収集されることにより、鮮度の高い情報をそのタイミングですぐに確認できるようになりました。」と今津氏。「例えば、ウイルス対策ソフトのバージョン確認や、Windowsの 更新プログラムの適用可否の確認、また適用されていないものについてはプログラムを配布して環境を統一する、といった運用が可能となりました。セキュリティを高めるということについてもITAM導入の効果があったと思います。」 また、これまで従業員個人



システム基盤事業部 デスクトップサービス部 今津 崇史 氏

についてもITAM導入の効果があったと思います。」 また、これまで従業員個人に管理を任せていたOS やアプリケーションのパッチ適用など、PCのメンテナンスについてもITAMを導入したことで集中管理が可能となり、生産性の向上に貢献したという。

「これまでソフトウェア資産管理の分野はあまり機能が充実していなかったので、 追加されたITAMのSAM機能を是非使ってみたい。」 – システム基盤事業部 福田 κ

— ITAMに対する改善要望

「弊社のPC運用管理アウトソーシングサービスである『Wave PC Mate』の構成ツールとして、ITAMはお客様からも高い評価を得ています。ただ一方で、バージョンアップ頻度が多いためパッチの切り分けをしてもらえると助かります。」と今津氏はいう。

機能面では「これまでソフトウェア資産管理の分野はあまり機能が充実していなかったので、新たに追加されたITAMのSAM機能を是非使ってみたい。」と福田氏。また、NTTデータ ウェーブでは社内でスマートフォンを導入していることから「キャリアの垣根を越え、他のIT資産と一元的にITAMで機器の管理を行えるようになれば」とITAMの今後に期待を寄せた。

ハードウェアの提供から導入、運用管理、撤去までのPCライフサイクル全体を通した

「トータルアウトソーシングサービス」をマルチベンダーで提供します。



システム基盤事業部 デスクトップサービス部 福田 英明 氏

―今後のIT資産管理について

ASPサービスパートナーとしてもITAMとの関係が深いNTTデータウェーブ。「IT資産管理を行っていない企業や早く立ち上げたい企業など、手軽に素早くIT資産管理をスタートしたい時はITAMが一番いいと思っています。」とASPサービスパートナーならではの視点でITAM導入のメリットを語ってくれた。また、「他社製品はスイートで売り出しているところが多いです。管理分野が多いと導入時に他のソフトウェアとバッティングして動作しないといった経験もあるため、導入に手間がかかることがあります。」と付け加えた。

今後のIT資産管理の展望としては、「IT資産管理は企業にとって必須の業務の一つである一方、IT資産が社内に固定的に置かれるという環境から、外に持ち出せるモバイルデバイスが登場し、IT資産管理に対する考えが過渡期に差し掛かっていると考えています。情報集積が進歩したこともあり、『"もの"の管理』のみだけでなく『"情報"の管理』も並行して行わなければならなくなってきており、ますますIT資産管理に対する重要性は高まっています。コンプライアンスの要請も高まっているという側面もあり、こういった点からもITAMを使って応えていきたいと考えています。」と語る。

NTTデータ ウェーブ様 PC運用管理サービス 「Wave PC Mate」 ご紹介

Wave PC Mate

thートサービス
ハードウェア・
ソフトウェアの管理

セットアップ / テリバリサービス
セットアップ / テリズリサービス

ITAMと自社開発の独自ツールによる自動化、省力化により従来のオンサイト型サポートに比べ、安価で尚且

迅速なサポートを提供。

・最適なPCおよび周辺機器を利用期間にあわせた月額費用

でご提供
・ヘルプデスク、セキュリティ対策、資産管理などトータルでサポート

お問い合わせ先

株式会社NTTデータ ウェーブ

システム基盤事業部

TEL:03-6833-5981 FAX:03-5770-2630

http://www.nttd-wave.com/solution/PCMate/index.html Webからお問い合わせフォームをご利用下さい。

※ WavePCMate®は株式会社NTTデータ ウェーブ様の 登録商標です

<お問い合わせ>



株式会社 **コア プロダクトソリューションカンパニー** ネットワークソリューション部

